

# くすね信

～養泉寺寺報 Vol.7～



法話会に合わせ、昔の貴重な着物や写真などを展示(2021年5月28日)

## 特集 ～今できることは何だろう?～

28日。何の日か分かりますか。真宗門徒にとってはとても大切な日です。そう、親鸞聖人の御命日です。ちなみに祥月御命日は11月28日です。本山、真宗本廟(東本願寺)では、報恩講が一週間に亘って勤まり、28日が最終日で、御満座(ごまんざ)といいます。

養泉寺では、毎月28日には法話会を開いています。時期や行事との兼ね合いで行わない月もありますが、誰もが教えに触れられる

機会を作ることを大切にしています。

5月28日の法話会では、大広間に昔の着物や写真、屏風などを展示し、お参りの皆さんに見ていただきました。衣替えてタンスを整理する必要もあったので、ちょうど良いタイミングとなりました。

改めて昔の着物や法衣(お寺さんが儀式で着用する着物)を眺めてみると、とても手の込んだ刺繍がしてあったり、大切に手入れした痕跡があったり…。とにかく一着一着、大切



にされていたんだなあということを感じました。昔の着物は「タンスの肥やし」となりがちな嫌われ者ですが、当時の人の生活や姿を想像すると、日々の生活を丁寧に丁寧に過ごしていたのではないかなあと思います。そして同時に、今の私たちはどのような生活をしているかなあ、と考えさせられます。

現代は、大量生産大量消費の時代です。そして、経済的に価値のある物はどんどん作られますが、逆にその価値のないものは容赦なく切り捨てられていきます。少し古くなれば、また不便を感じたならば、お金を出しさえすればすぐに新しいものと交換できます。物質的にはとてつもない豊かさを手に入れているのが今日です。

ではそうやって誰もが幸せを感じているのでしょうか。私は決してそうとは言えない気がするのです。物質的な豊かさと引き換えに私たちは、心理的な豊かさ、心のゆとりを見失っている様な気がするのです。

昔に戻ることはできません。しかし、昔に学ぶことはできます。今からは考えられないような不便さの中で、手間暇の中で、御苦労の中で、昔の人々は何を大切に生活していたのでしょうか。

長年整理していないタンスの奥に、色褪せたアルバムの写真に、滅多に引き出すことのないお内仏の引き出しの中に、その答えが隠れているかも知れません。

今年法話を聞ける機会はあと3回（最後のページ、行事カレンダー参照）です。皆さんのお参りをお待ちしています。（当院）



## KOTONOHA



### 養泉寺の掲示板の言葉（3月から8月まで）

- 3月 「さよならではなく またねの世界」
- 4月 「心が変わる時 壁は扉へと変わる」
- 5月 「会えないさびしさは尊い」
- 6月 「本物は続く 続けるから本物になる」
- 7月 「今ある恩徳は 失われるまで分からない」
- 8月 「人のふり見て 我がふりと知れ」

新型コロナウイルスの猛威が止まりません。しばらく会っていない家族や友人がおられる方も多いと思います。

会えない時間が長くなり、さびしさが募ることは辛いものです。しかしよく考えてみると、会えなくてさびしく思えるほど大切な存在が、あなたの人生に存在しているということでもあります。さびしさは、あなたが一人ぼっちではないという証拠です。

会えないさびしさは辛いことでもあります。が、尊いことでもあるのです。

会えない時間を通して私たちは、その人のことを深く思うことができ、今まで当たり前だと思っていた時間の尊さに気が付くこともでき、自分自身のこれからの生き方を見直すことができるのではないのでしょうか。

新型コロナウイルスだらけの日々は辛いです。早く安心して生活がしたいです。それは間違いありません。しかし今しかできない大切な学びもあることを、私たちは忘れてはいけません。

## あなたにインタビュー ～高橋 直也～



### 対談【農業の未来 × お寺の未来】

高橋直也【(株)高橋農産代表】× 倉井光弥【当院】

今回は、(株)高橋農産代表で養泉寺の御門徒さんでもあ  
る高橋直也さんと対談させていただきました。

倉：農業の現状や課題についてどうお考えですか？

高：とにかく人がいないですね。“担い手”と言われる人は何人かいるんですが、その担い手がこれだけの農地を守っていけるかというかなり厳しいと思います。やり方の違いもあり、その担い手同士がまとまってやるということもなかなか難しいです。うちの場合は、外から雇ってでもやろうという考えです。会社にした背景には、社会保険も整えて、経営者も従事者も入ってきやすくなる環境を作りたいという思いがありました。

倉：私のイメージでは、経験があったり小さい頃から身近に触れていたりしないと、農業をやっていくことは難しいように思っています。

高：これからは、むしろ何も知らない人の方が向いていると思っています。専門の学校で勉強してきたことと、現場での実践とでは、違うところがたくさんあるんです。

倉：それはお寺についても一緒ですね。先入観が強すぎる人は、自分の心によってがんじがらめになります。対照的に、先入観がない人が、その感覚で大改革を起こすようなお寺もありますね。そういうところに農業とのつながりを感じます。

高：あと大事だと思っていることは、農業で経営することです。いかにコストを下げて利益率を上げていくか。ボランティア的な面もあるけれど、私たちにも生活がある。職業としてみてもらうためにも、経営に魅力がないと駄目だと思います。うちの経営理念は「農業の力で社会に貢献します」です。それは、農業で儲けられることを実現し、地元の雇用を生みたいという思いがあります。

倉：私も地元で一番大切なことは、雇用だと思っています。雇用がなければ住みたくても住めないし、子育ても不安ですね。お寺について言えば、会社ではないので難しい面もあるんですが、やりたいと思えるかどうかは大きな課題です。イメージ的なことで言えば、まだまだ寺族もそこに集う人も高齢なイメージがあると思います。しかし実際は、若い世代がいろいろなアイデアを持ってやっています。考え方もアプローチも、自由にやっているお寺が多くなってきていますね。

高：田んぼはすごく嫌われて、きついイメージがある。しかし「園芸」だとなぜかやりたい人がいるんです。しかしやっている人間から言えば、園芸にもきついところがたくさんあります（笑）イメージと実際とのズレは感じます。逆に田んぼにもイメージとは違った魅力もあると思います。うちはドローンも使っています。いかに楽しく楽してやっているのかを見せることも大切にしています。

倉：お寺も本来は全世代が集い、生きている喜びを感じられる場所なんですが、実際は死のイメージが先行します。最近は一昔よりもそのイメージは薄れたと感じますが、まだまだイメージを変えるためのはたらきかけはできていると感じています。

高：私がよく感じるのは、浜の方と農村部とでの隔たりです。今こそ一緒に何かできないと駄目なんじゃないかなあと。以前、寺泊で鮭街道という企画がありましたが、海のものや農村のものを使って、何か一つ作るという発想も必要だと感じました。

倉：お寺の世界で、区分け、隔たりということではふと思ったのは、男性と女性です。今では女性が住職のお寺も多くなりましたが、まだ「女性住職」というんです。男性の場合は「男性住職」とは言いませんよね。以前法話に来ていただいた藤枝さんという方が仰っていて、本当にそうだなあと気付かされました。その辺の意識は根深いですよね。

高：私はまだなかなか慣れないなあ（笑）

倉：農業の魅力発信のためにしている具体的な工夫などはありますか？

高：あまりアピールはしないですね。やり方を見てもらって、魅力を感じてもらえばいいと思います。私もあまりいろんな人と関わることが得意じゃないので（笑）ただ、目指しているのは、頼んで来てもらうのではなく、向こうから興味を持って来てくれる。そんな会社になりたいですね。とにかくコツコツと専業でやるのが大事だと思います。

倉：私は、もちろん守るべきものもありますが、イメージごと変えていってもいいものもあると考えています。そういうことを意識しながら、お寺の楽しさ、大切さをこちらから発信していくことをしていますね。

高：私は人生には賭け的な要素もあると思います。楽しむ感覚があるからこそ、出来ていることもあるのだと思います。今はすごく周りの皆さんも協力的で、仕事もやりやすい環境で、感謝しています。

倉：楽しむ感覚、私も大切にしていきたいです。今日は本当にありがとうございました。



(2021年7月12日、インタビュー)



# PHOTO GALLERY

3月20日 春彼岸会



春の彼岸中日には、たくさんの方からお参りいただきました。暖くなり、動きやすい時期になってきました！

南無阿弥陀仏…



5月28日 法話会



住職は疫癘（えきれい）の御文について話しました！



6月28日 法話会



燕市笈ヶ島の願念寺御住職、鈴木淳子さんをお迎えして、お話をお聞きしました。「心を配る」ということ、コロナで気を付けなくなったことについてお話され、有り難く聞かせていただきました！



7月28日 法話会



歴代住職の歩みについて、1時間話しました！



8月1日、8日 盆参、新盆会



老若男女、お参りいただき有り難かったです！法話では、「生き直し」をテーマに話しました。



8月21日 夏のこども会 2021



大迫力の大型紙芝居！ 演目を変えて、2回上演してもらいました！



ジェラートの振る舞い、宝探しゲームを行い、自由楽しく遊びました！

8月28日 法話会



新潟市の明願寺御当院、小柳円晃さんのお話。社会科教員という立場から、興味深いお話を聞かせていただきました！

9月23日 秋彼岸会



大勢のお参りありがとうございました。よもぎ大福も絶品！



よく見てみて！

# お寺の裏側 —URATERA—



もっと知ってほしいお寺の情報や、知っているようで知らない仏事の豆知識などを紹介します！

## 調べてみよう！！ お内仏で分かるあなたの家の歴史

お参りに回っていると、いろいろな年代のお内仏と向き合います。なぜ分かるかというと、掛け軸（名号軸や法名軸）に、それをお受けした当時の御門首（本山の御住職）の名前が添えられているからです。つまり、あなたの家には、少なくともその御門首の時代と同等以上の歴史があるということです。さあ、さっそく調べてみましょう！

修如	第26代門主(2020～現在)
浄如	第25代門主(1996～2020)
闡如	第24代門主(1925～1993)
彰如	第23代門主(1908～1925)
現如	第22代門主(1889～1908)
嚴如	第21代門主(1846～1889)
達如	第20代門主(1792～1846)
乗如	第19代門主(1760～1792)
従如	第18代門主(1744～1760)

※()は在職期

いかがでしたか？！ 私が今まで見たお脇掛けは、大体これらのうちのどなたかの名前が書いてあるようです。養泉寺の御門徒さんで、従如さんの書いた名号軸があるお宅がありますが、もしも「うちはずっと古かった」という方がおられたらお知らせ下さい(笑)

### <参考>

真如(第17代)	証如(第10代)	覚如(第3代)
一如(第16代)	実如(第9代)	如信(第2代)
常如(第15代)	蓮如(第8代)	<b>親鸞</b> (初代)
琢如(第14代)	存如(第7代)	
宣如(第13代)	功如(第6代)	
教如(第12代)	綽如(第5代)	
顕如(第11代)	善如(第4代)	

## 教えて！！ Q & A コーナー

御門徒さんからいただいた疑問や質問にお答えします。こんなことを教えてほしい、これをぜひ採り上げてほしい、というリクエストもお待ちしております！！

Q 冥土（めいど）とは何ですか？（牛島の堀部春子さんより）

A 「冥土の土産」という言葉がある様に、私たちは死後の世界を表すときに「冥土」という言葉を使います。この「冥」という字には、「光がなくて暗い」という意味があり、私たちは死後の世界をそういうイメージで見ていることが分かります。

亡くなった方へ「ご冥福をお祈りします」と言葉を送るのが一般化していますが、ここには、「光がなくて暗いところに行くけれど、その中でもどうか幸せに…」という意味が込められています。しかし、本当に死後の世界は暗く、生きている今は明るいのでしょうか。そこには生きている私たちの勝手な決めつけや傲慢さが潜んではいないでしょうか。

浄土真宗では、「哀悼の意を表します」とは言いますが、「ご冥福をお祈りします」とは言いません。亡くなった方はお浄土に往生され、仏となって私たちをお浄土へと導くはたらきとなって下さるからです。お浄土は、日々の人生に迷い苦しむ私たちの姿を映し出し、真実の拠り所となって下さる世界です。お浄土の光に触れて初めて、私たちは自分の間に気付かされ、真実を求める歩みが始まるのです。「冥土」とは、死後の世界ではなく、むしろ迷いながら生きている私たちの世界ではないでしょうか。少し考えてみて下さいね。



当たり前にも使っている必要がありそうじゃないか！

## 寺族の声 - 編集後記 -

お彼岸を意識するようになったのは、お寺に嫁ぎ生活するようになってからです。意識すると本当に「暑さ寒さも彼岸まで」なことに毎年、感心しています。今年もお彼岸の法要を無事に勤められたことに感謝。お参りお疲れ様でした。次回法要は親鸞聖人のご法事である報恩講です。沢山のお参りお待ちしております。

寺泊の野積で10年越しに釜焚き塩が作られたんです。商工会の方からご依頼頂きパッケージのデザインを描かせて頂きました。釜から塩が出来上がる様子をイメージして塩の文字をデザインさせてもらいました。家族の意見を聞きながら試行錯誤。思い通り描けず何度も何度も描きました。出来上がりを商工会の方々にも喜んで頂き、一安心。パッケ

ージングされた塩を見た時は可愛さがひとしおでした（塩だけに）。

お料理好きは塩にこだわりがある人が多い気がします。私的には塩むすびがオススメ。ご飯と塩、海苔だけなのに絶品おむすびになり驚きました。お料理の味付けに、寺泊のお土産に。100g、540円で売られています。いかがでしょう？

そうそう。筆文字も教えております！アートの様な、きもち伝わる筆文字です。興味ある方はお問い合わせ下さいね。

文章：若坊守（倉井智子）



伝筆で、いろんな言葉、あなたも書いてみませんか？

様々なコースから技法を学び、自分で楽しめるようになります。ご興味のある方は若坊守までお気軽にお問い合わせ下さいね！

こちらからいろいろやり取りもできますので、お気軽に連絡下さい！

一般社団法人 伝筆®協会  
認定講師

友だち追加

ヨガ教室開催中！楽しくやっています☆

毎月第2・4月曜日  
13:15~、1時間程度

詳しくは大矢ひとみ先生まで！

Tel 090-2980-6293

Web <http://sonomamanohito.blogspot.jp>

住職が6月に脳梗塞を発症しました。今(9月30日現在)は岩室のリハビリテーション病院に入院中で、日々リハビリに取り組んでいます。

住職不在でも、行事はきちんとつとめています。お参りしていただくとありがたいです。 当院

全ての連絡先、問合せ、疑問や質問、ご意見ご感想はこちらまで！！

電話 0258-75-2210  
ファックス 0258-75-2210  
ホームページ <https://yosenji-teradomari.jimdofree.com/>  
メール [yosenji1594@gmail.com](mailto:yosenji1594@gmail.com)  
郵便 〒940-2502 新潟県長岡市寺泊一里塚 3883

LINE 友だち追加



養泉寺 LINE

LINE 友だち追加



養泉寺 kids LINE



TERADOMARIYOUSENJI  
養泉寺 Instagram

# 養泉寺 行事カレンダー（10月～2月）

<b>報恩講</b> <b>（最も大切な仏事です）</b>	<b>10月27日（水）</b> <b>10月28日（木）</b>
	<時間> 午前10時半～12時半頃 <志目安> 二千元以上、蠟燭、野菜など <備考> お齋持ち帰り、お供物あり
<b>おそうじ隊</b> <b>（清掃ボランティア）</b>	<b>10月23日（土）</b> <b>11月13日（土）</b>
	<時間> 午前9時～正午 <持ち物> 草刈り機（ある方）、鎌など <備考> 弁当の用意あり、若い方歓迎!!
<b>法話会</b>	<b>11月28日（日）</b>
	<時間> 午後1時半～3時 <志目安> お賽銭 <備考> 茶話会あり（お時間のある方）
<b>除夜の鐘</b>	<b>12月31日（金）</b>
	<時間> 午後11時45分～0時半頃まで <備考> 本堂にもお参り下さい
<b>年頭</b>	<b>1月1日（土）～</b> <b>1月5日（水）</b>
	<時間> 終日（必ず御本尊にお参りを） <備考> 年始香、手土産の用意あり
<b>初お講</b>	<b>1月28日（金）</b>
	<時間> 午前10時半～正午 <志目安> 千円（お楽しみ会会費別） <備考> お齋、お楽しみ会は検討中

<発行> 養泉寺出版 2021年9月30日